

National

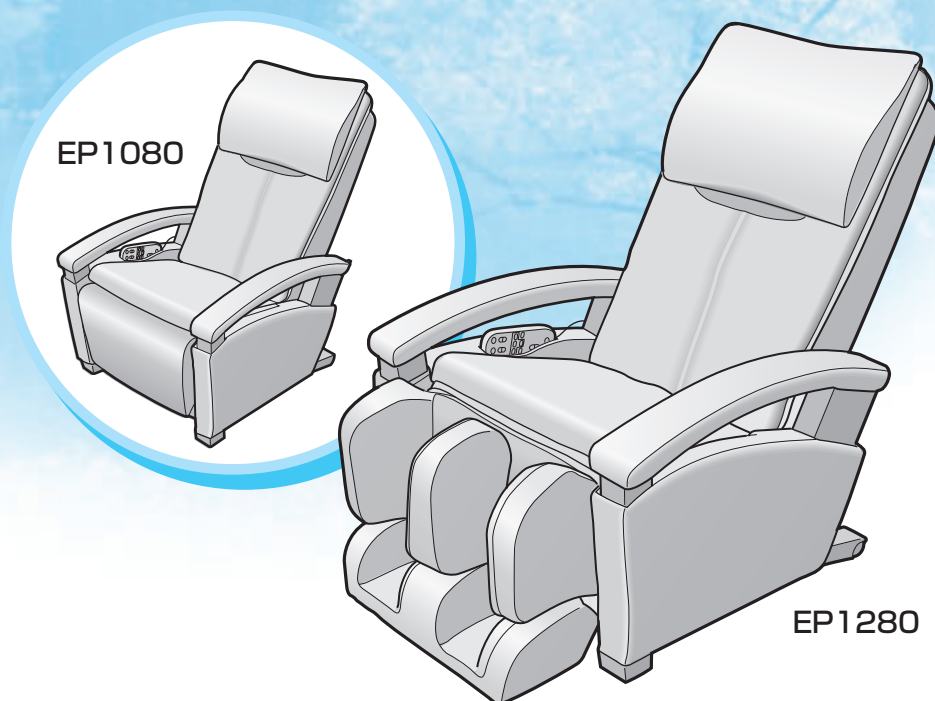
取扱説明書

家庭用

品番

マッサージチェア EP1280
EP1080

アーバン・アイ



保管用

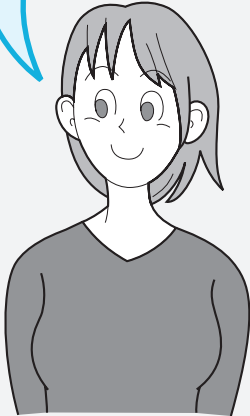
保証書別添付

- このたびはナショナル製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

お持ちの商品の
機能をご確認ください。

		EP1280	EP1080
基本機能	自動コース・クイック5分コース	●	●
	お好み動作	●	●
調節機能	上半身マッサージの速さ	●	●
	上半身マッサージの位置	●	●
エアー マッサージ	脚・足裏マッサージ	●	—
ストレッチ	脚ストレッチ	●	—
その他	リクライニング角度調節	●	●
	脚のせ台角度調節	●	●
	枕	●	●

エアーマッサージとストレッチは
EP1280のみの機能です。
(EP1080ではご利用になれません)



ご使用前に

- 安全上のご注意.....4
- はじめに(設置場所について).....7
- 各部のなまえとはたらき.....8
- 設置する／組み立てる.....10

使いかた

- マッサージの準備(毎回).....12
- 自動コース・クイック5分コースでマッサージ.....14
- 上半身をお好み動作でマッサージ.....16
- 下半身をお好み動作でマッサージ.....18
- マッサージが終わったら.....19

お手入れ/Q&A

- お手入れ.....20
- 自動コースのおおまかな内容(上半身).....21
- Q&A.....22

お知らせ

- 故障かな?と思ったとき.....24
- 再梱包のとき.....26
- 定格・仕様.....27
- 保証とアフターサービス.....裏表紙

お断り

この取扱説明書の中で使用している
本体や操作器のイラストは、一部を
除いてEP1280を使用しています。
あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。
※安全上の注意についての詳細は各ページにのせています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

**警告**

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

**注意**

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例





記号は、**禁止**の行為を示しています。
(左図の場合は分解禁止)




記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。
(左図の場合は電源プラグを抜く)


※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

**警告**


**必ず守る**

- 医師の治療を受けているときや下記の人には必ず医師と相談のうえ使用する。
(1)ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込型医用電気機器を使用している人
(2)悪性しゅよう(腫瘍)のある人
(3)心臓に障害のある人
(4)妊娠中や出産直後の人
(5)糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
(6)骨粗しょう症の人、せきつい(脊椎)を骨折している人、捻挫、肉離れなどの急性とう(疼)痛性疾患の人
(7)施療部位に創傷のある人
(8)体温38℃以上(有熱期)の人(例：急性炎症症状〔けん怠感、悪寒、血圧変動など〕の強い時期。衰弱しているとき。)
(9)安静を必要とする人や著しく体調のすぐれないとき
(10)背骨に異常のある人、曲がっている人
(11)椎間板ヘルニア症の人
(12)上記以外に身体に特に異常を感じているとき
守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
- 使用中に身体に異常があらわれたり感じたときや使用しても効果があらわれない場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談する。
守らないと事故や体調不良をおこすおそれがあります。
- マッサージ使用中や背もたれ、脚のせ台を動かすときは必ず周囲(椅子の後部・下部・前部・側部)に人やペットがいないことを確認する。
守らないと事故やけがのおそれがあります。
- ご使用前には、必ず背クッションを上げて、本体の布地が破れていないか確認する。また、その他の部分にも布地の破れがないか確認する。(どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください)
布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。
- はじめは弱い刺激でマッサージする。また、マッサージは1回15分以内に。また、同一箇所への使用は5分以内に。する。
守らないと逆効果やけがのおそれがあります。
- 使用後は必ず電源スイッチを「切」、施錠スイッチを「閉」にし、施錠キーを抜く。
守らないと子供のいたずらによる事故やけがのおそれがあります。


**警告**

**必ず守る**


- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
守らないと感電や発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
守らないと湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

**禁止**


- 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人(例：血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症〔皮下組織の炎症を含む〕など。)症状を悪化させるおそれがあります。
- 首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意して、首の前方や過度に強いマッサージはしない。
- 背もたれやひじ掛けの上にのらない。
- お子様に使わせない。また、本体の上で遊ばせたり、座面・背もたれ・ひじ掛けの上にのらせない。
- 自分で意思表示ができない人、または、自分で操作できない人は使わない。
事故やけがのおそれがあります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない。(海外でのご使用や変圧器を用いたご使用はできません。)
感電・故障や発熱による火災の原因になります。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、加工したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、束ねたりしない。)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。電源コードや電源プラグの修理は、販売店または「修理ご相談センター」にご相談ください。


**ぬれた手禁止**

- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
感電の原因になります。

**分解禁止**

- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。
発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

**注意**

**必ず守る**

- 現在健康でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。
(1)加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人
(2)骨や内臓に起因する腰痛の人
(3)打ち身やねんどのしやすい人
(4)乗物酔いの激しい人
(5)過去に心臓や内臓の手術をされた人
守らないと健康をそこなうおそれがあります。
- もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。
- 本体に異物がはさまっていないか確認してから座る。(背もたれ、脚・足裏マッサージ部に異物がはさまっていないか確認する。)
守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 頭部につけた髪ざりなどの硬いものははずしてから座る。
守らないとけがのおそれがあります。
- マッサージ中に本体から降りるときは、必ず動作を止めてから降りる。
守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く。
守らないと感電やショートのおそれがあります。
- 安全のためにアースを確実に取り付ける。(P.11参照)
守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意	
⚠ 必ず守る	● キャスターで移動するときは、周囲の障害物を取り除き、背もたれを完全に起こした状態で脚のせ台を腰より低く持ち上げ（床から約80cm以下）、ゆっくり移動する。 守らないと転倒による事故やけがのおそれがあります。
	● 水平な場所で使用する。 守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
	● 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。 守らないと感電や発火のおそれがあります。
	● 本品の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談する。 守らないと事故や体調不良のおそれがあります。
	● 施錠キーは、子供の手の届かない場所に保管する。 守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがのおそれがあります。
	● 枕を背クッションに正しく取り付けて使用する。 守らないと、面ファスナーが毛髪にからみついたり、肌にこすれることによるけがや、衣服を傷めるおそれがあります。
⊘ 禁止	● 他の治療器と同時に使用しない。 事故や体調をくずすおそれがあります。
	● 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上にのったり、立ったり、物をのせたりしない。 本体が転倒したり、脚のせ台の足先部が回転したり（EP1280のみ）することによる事故やけがのおそれがあります。
	● もみ玉に頭、おなか、素肌をあてない。また、もみ玉に手や脚をはさまない。
	● 脚・足裏マッサージ部にひざをはさまない。
	● 使用中に眠らない。また、飲酒後の使用はしない。 事故やけがのおそれがあります。
	● 下記のような本体の隙間に手や脚を入れない。 （1）背もたれと座面・ひじ掛けの隙間 （2）脚のせ台と座面・ひじ掛けの隙間 （3）座面とひじ掛けの隙間
⊘ 水場使用禁止	● 脚のせ台の裏側や脚のせ台と床の間に手・指・脚や頭を入れない。
	● マッサージ使用中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしない。 けがのおそれがあります。
	● 人をのせたまま移動しない。 転倒による事故やけがのおそれがあります。
	● ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。 火災のおそれがあります。
	● 浴室など湿気の多い場所で使わない。 感電や故障の原因になります。
	● 本体や操作器には水などをこぼさない。 感電やショート、故障の原因になります。
⚡ 電源プラグを抜く	● お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電ややけどのおそれがあります。
	● 停電のときは直ちに電源プラグを抜く。 停電復帰時、事故やけがのおそれがあります。
	● 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。

はじめに（設置場所について）

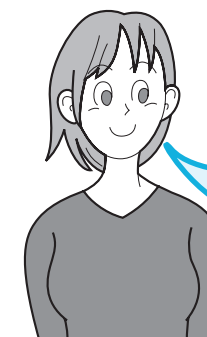
箱から出す前に、設置する場所を決めておいてください。

リクライニングできるスペースを確保してください。

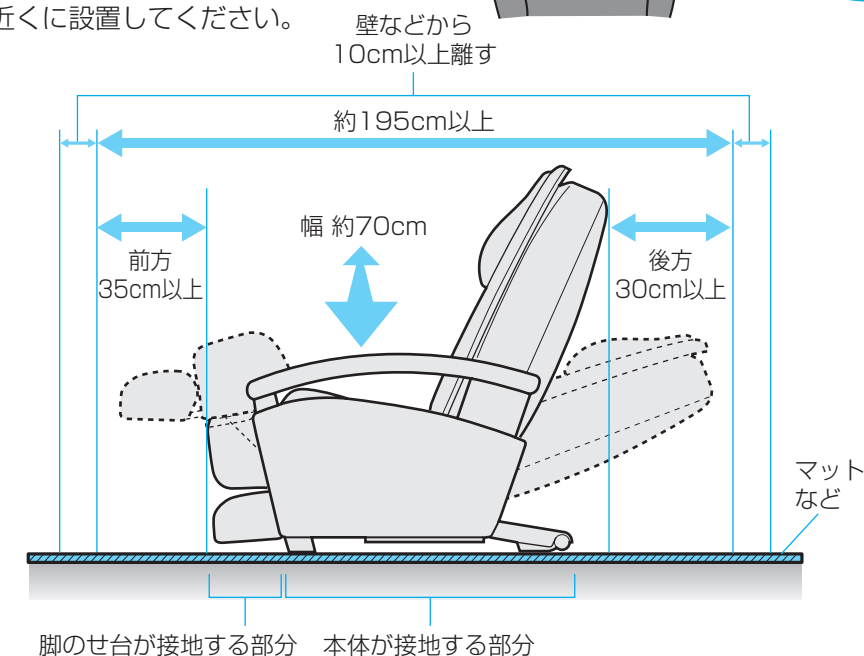
⚠ 注意

- 浴室など湿気の多い場所で使わない。
感電や故障の原因になります。
- 水平な場所で使用する。
守らないと本体が倒れて事故のおそれがあります。
- ホットカーペットなどの暖房器具の上で使わない。
火災のおそれがあります。

- 直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど高温になるところへの設置は避けてください。
合成皮革が変色したり、変質するおそれがあります。
- たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをお勧めします。本体と脚のせ台が接地する部分を覆える大きさ（最低120cm×70cm）のものをご用意ください。
- コンセントの近くに設置してください。



お引越しなどで再梱包する場合は26ページをご覧ください。



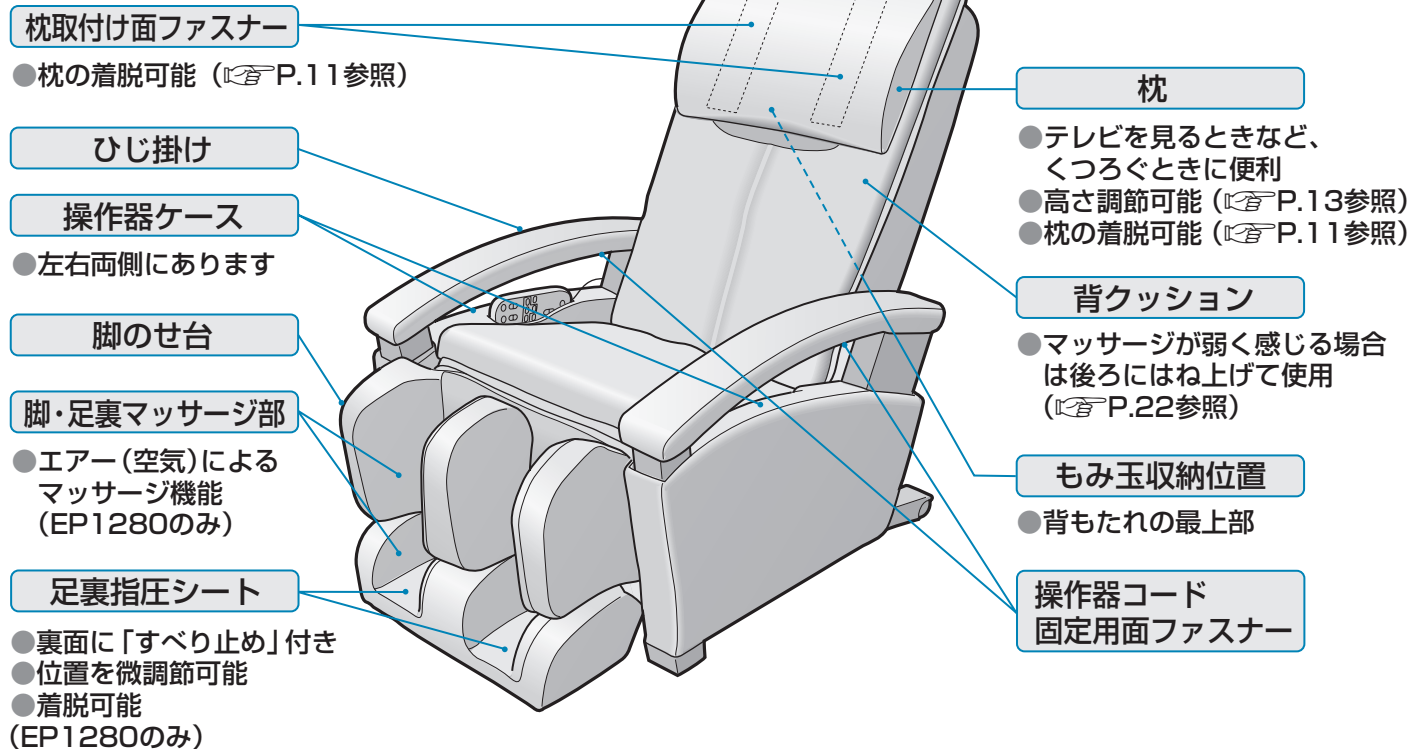
※イラストはEP1280です。EP1080も同様のスペースが必要です。

各部のなまえとはたらき

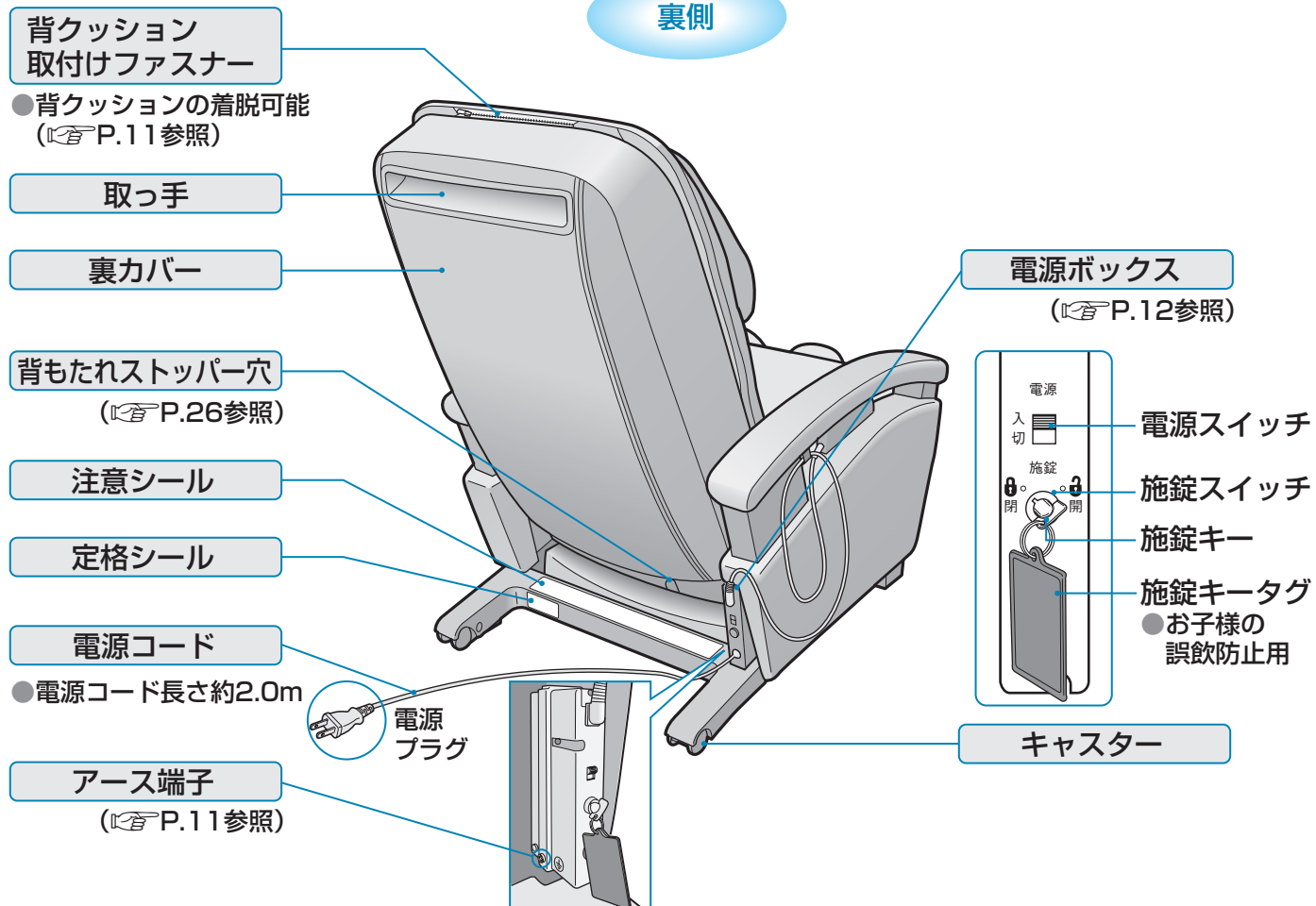
※イラストはEP1280です。

本体

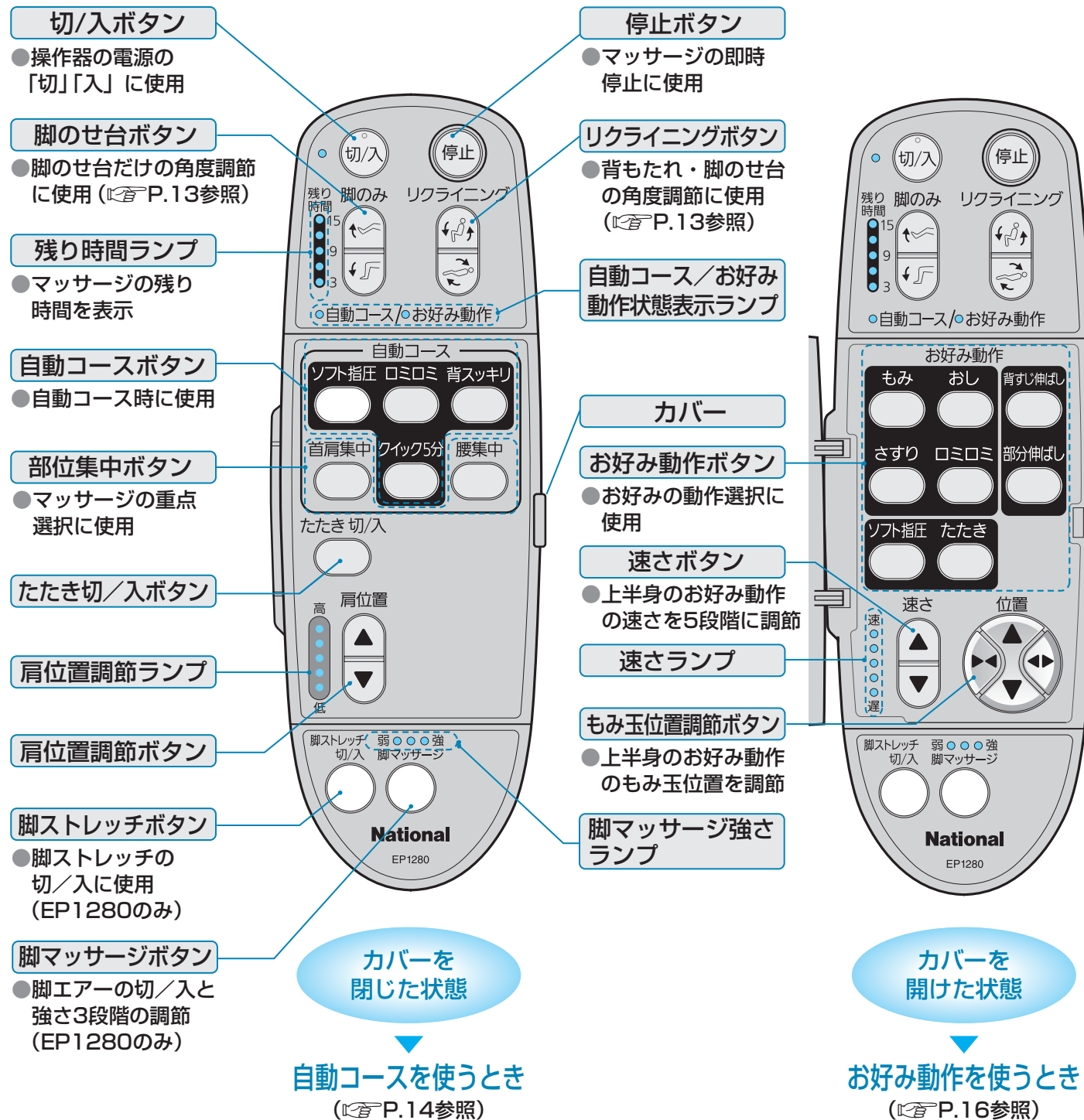
表側



裏側



操作器



設置する/組み立てる

※イラストはEP1280です。

1) 梱包箱を開けて背もたれを起こす

注意

- 背もたれを起こすときは、背もたれと背もたれストッパーの間や、背もたれとひじ掛けの間に、手や足などを入れたりしない。守らないと挟まれて事故やけがのおそれがあります。

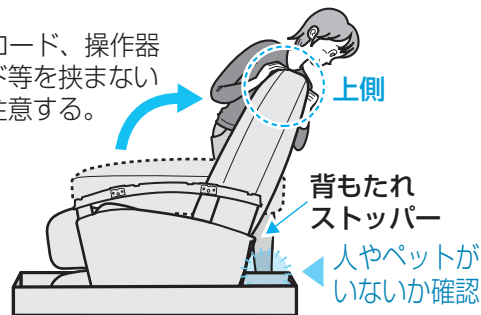
Step 1 梱包箱の上箱を開ける

- 梱包状態では、背もたれは折りたたまれた状態になっています。

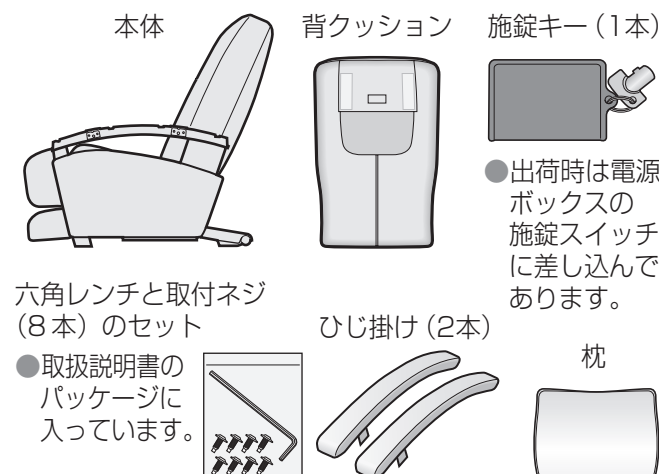
Step 2 緩衝材、包装袋を取り除き、付属品などを取り出す

Step 3 背もたれの上側を持って最後まで起こす

- 背もたれの上側を両手で支えながら、矢印の方向に最後まで起こしてください。(下側を持つと指などを挟むおそれがあります。)
- 背もたれを起こすときは電源を入れないでください。
- 電源コード、操作器コード等を挟まないよう注意する。



2) 本体と付属品を確認する



3) 商品を搬入する

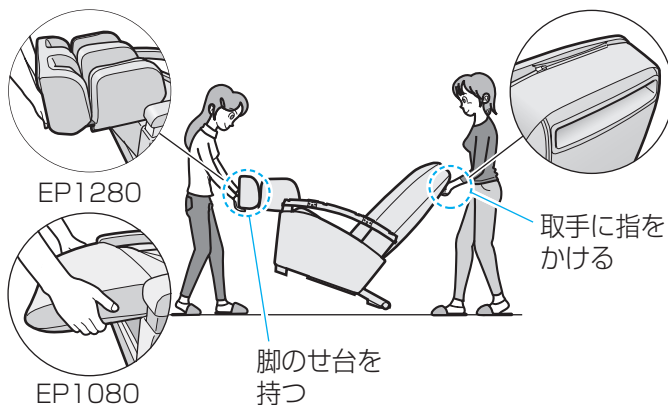
注意

- 人をのせたまま移動しない。転倒による事故のおそれがあります。

重量物ですので搬入移動時には腰などを痛めないようにご注意ください。(必ず2人で運んでください。EP1280:約59Kg EP1080:約54Kg)

持ち上げて

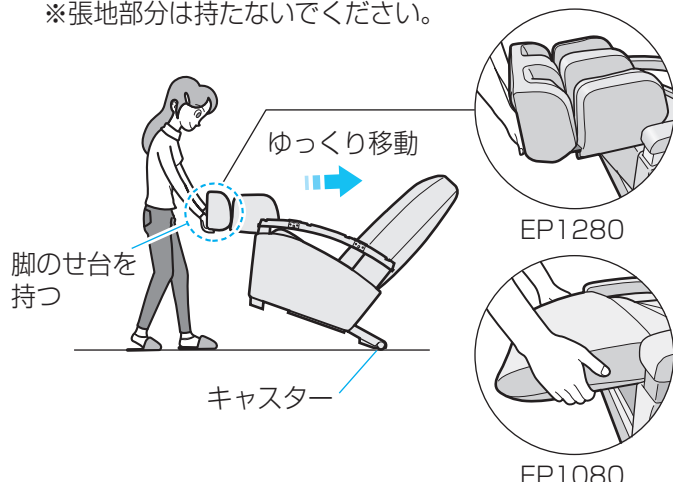
- 前後から二人で、脚のせ台と裏力バーの取手を持って移動します。※本体を落とすと床をキズつけるおそれがありますので、しっかり持ってください。



キャスターを使って

- 脚のせ台を持って、椅子の前側を持ち上げ、キャスターで移動します。
- もみ玉を収納状態にし、背もたれを起こしておくとも移動しやすくなります。

※床をキズつけるおそれがありますので、マットなどを敷いてゆっくり移動してください。※張地部分は持たないでください。



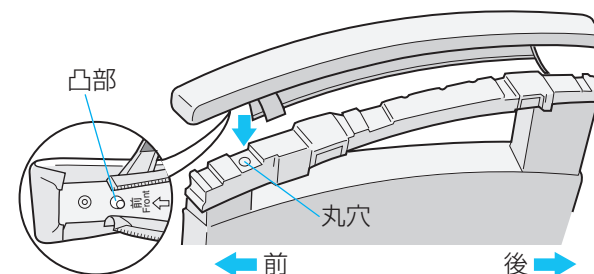
4) ひじ掛けを本体に取り付ける

Step 1 ひじ掛けを取り付ける

- (張地を傷付けないようご注意ください)
- ①面ファスナーを外す
 - ②ひじ掛けのファスナーを完全に外す
 - ③左右どちらのひじ掛けか確認する。ひじ掛けの前後の向きも確認する (イラストは左ひじ掛けです。右ひじ掛けには「前」「右」「後」の刻印があります) ※左ひじ掛けは座って左側の位置に取り付ける



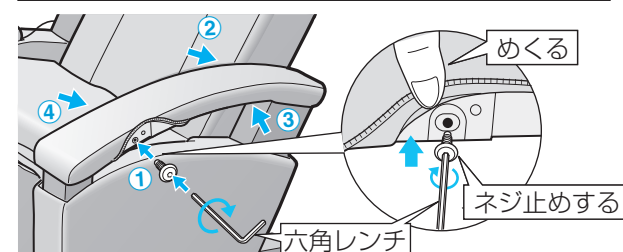
- ④ひじ掛けの凸部と本体の丸穴を合わせて、張地を挟まないように本体にはめ込む。挟まった場合は傷を付けないように引き出す



Step 2 取付ネジでひじ掛けを固定する

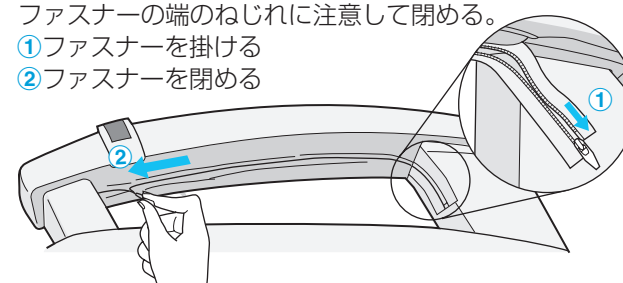
- (1つのひじ掛けに計4カ所) ひじ掛け側面の張地をめくりあげ、六角レンチの先に取付ネジをつけて差し込み、ネジ止める。(はじめに4カ所のネジを軽く締めたあと、増し締めしてください。)
- ※ネジが入らない場合は、ひじ掛けを上から押しながらネジ止めしてください。

使用するネジ
取付ネジ ×4本 (左右ひじ掛け用 計8本)



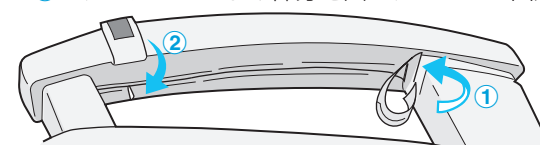
Step 3 ひじ掛け下部のファスナーを閉める

- ファスナーの端のねじれに注意して閉める。
- ①ファスナーを掛ける
 - ②ファスナーを閉める



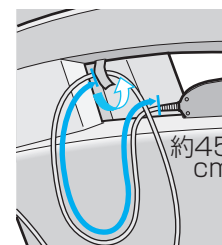
Step 4 ファスナーの両端をしまう

- ①ファスナーの端を内側に折り返す
- ②ファスナーのつまみ部分を面ファスナーで固定する



5) 操作器コードを固定する

- 操作器の付け根から約45cmの位置で、左右どちらかの操作器コード固定用面ファスナーで固定してください。 ※背もたれを倒したときに、操作器コードの長さには余裕があることを確認してください。(イラストは右ひじ掛けに固定する場合)



6) 背クッション・枕を取り付ける

- ①背クッションをファスナーで取り付ける
- ②枕を面ファスナーで取り付ける



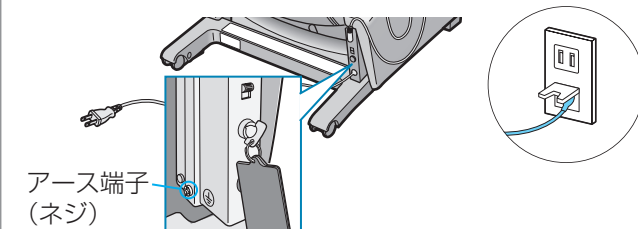
7) アースを取り付ける

注意

- 安全のためにアースを確実に取り付ける。守らないと故障や漏電のときに感電のおそれがあります。

電源コンセントにアース端子がある場合

市販のアース線を本体のアース端子(ネジ)と電源コンセントのアース端子に取り付けてください。(アース線は付属していません。銅線(直径1.6mm)をお買い上げの販売店で求めください)



電源コンセントにアース端子がない場合

お買い上げの販売店、電気工事に相談し、アース工事(D種<第三種>接地工事)をしてください。(アース工事費は本製品の価格には含まれておりません)

取り付けてはいけないところ

- ガス管：爆発や引火のおそれがあります。
- 電話線や避雷針：落雷のとき、感電や引火のおそれがあります。
- 水道管：途中がプラスチックの場合はアースになりません。

マッサージの準備(毎回) ※イラストはEP1280です。

Step 1 周囲を確認する

- 周囲に人やペットがいないか、物を置いていないか確認する



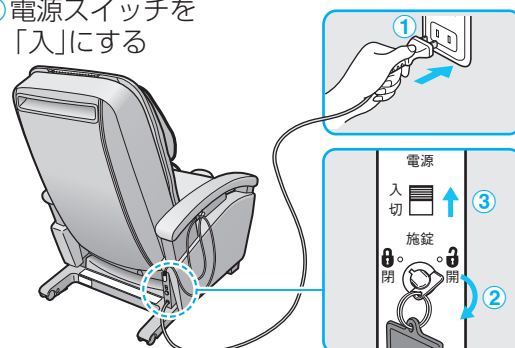
Step 2 電源コードや電源プラグを確認する

警告

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。守らないと、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。ほこりは乾いた布でふいてください。
- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、加工したり、熱機器に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をせたり、束ねたりしない。) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。電源コードや電源プラグの修理は、販売店または「修理ご相談センター」にご相談ください。

Step 3 本体の電源を入れる

- ①電源プラグを差し込む
②施錠キーを使って施錠スイッチを「開」にする
③電源スイッチを「入」にする



※お買い上げ時は施錠スイッチは「開」、電源スイッチは「入」になっています。

警告

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。守らないと感電や発熱による火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない。(海外での使用や変圧器を用いた使用はできません。) 感電・故障や発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。感電の原因になります。

Step 4 本体を確認する



- ④脚のせ台が完全に下がった状態にあることを確認する

警告

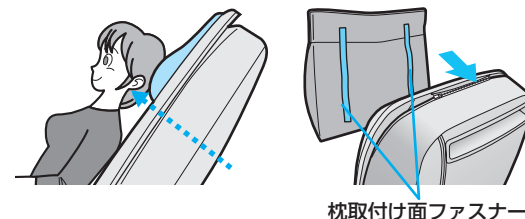
- 使用前には、必ず背クッションを上げて、本体の布地が破れていないか確認する。(どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。) 布地が破れた状態で使用するとけがや感電のおそれがあります。

注意

- 本体に異物がはさまっていないか確認してから座る。(背もたれ、脚・足裏マッサージ部に異物がはさまっていないか確認する。) 守らないと事故やけがのおそれがあります。
- もみ玉が収納位置にあることを確認してから座る。守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 脚のせ台が完全に下がっていないときに、脚のせ台の上ののったり、立ったり、物をのせたりしない。本体が転倒したり、脚のせ台の足先部が回転したりすることによる事故やけがのおそれがあります。
- 枕を背クッションに正しく取り付けて使用する。守らないと、面ファスナーが毛髪にからみついたり、肌にこすれることによるけがや、衣服を傷めるおそれがあります。

Step 5 椅子に座る

- 枕の下端が耳の位置にくるように枕の位置を調節する(目安)
●枕の位置が低すぎると、首周辺のマッサージの妨げになります。



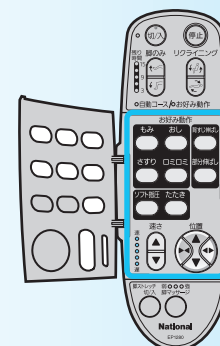
Step 6 マッサージのコースを選ぶ

自動・クイック5分コースでマッサージしたいときは...



操作器のカバーを閉じて14ページへ

上半身をお好みの動作でマッサージしたいときは...



操作器のカバーを開いて16ページへ

下半身をお好みの動作でマッサージしたいときは...(EP1280のみ)



右記Step7で椅子を調節したあと操作器の下部で操作する18ページへ

Step 7 必要に応じて椅子を調節する

リクライニング角度を調節する

コース選択後は自動的にリクライニングしますので、以下の場合に調節してください。

- 椅子のみでご利用の場合
- コース選択後、微調整したい場合
- 下半身をお好み動作でマッサージする場合

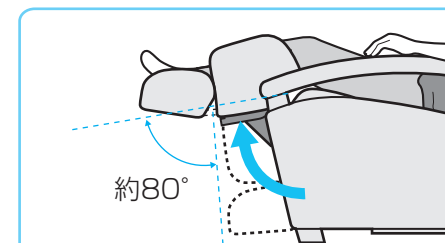


脚のみ

リクライニング

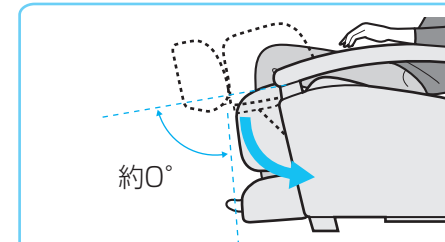


押している間、動きます。(「ピピピッ」と鳴るまで)
●脚のせ台は少し遅れて動き出します。

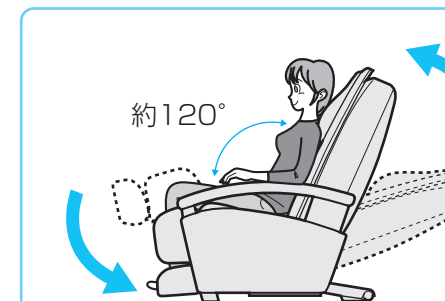


約80°

脚のみ

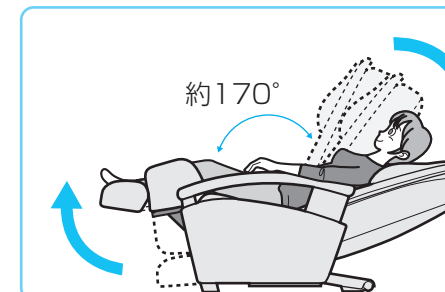


約0°



約120°

リクライニング

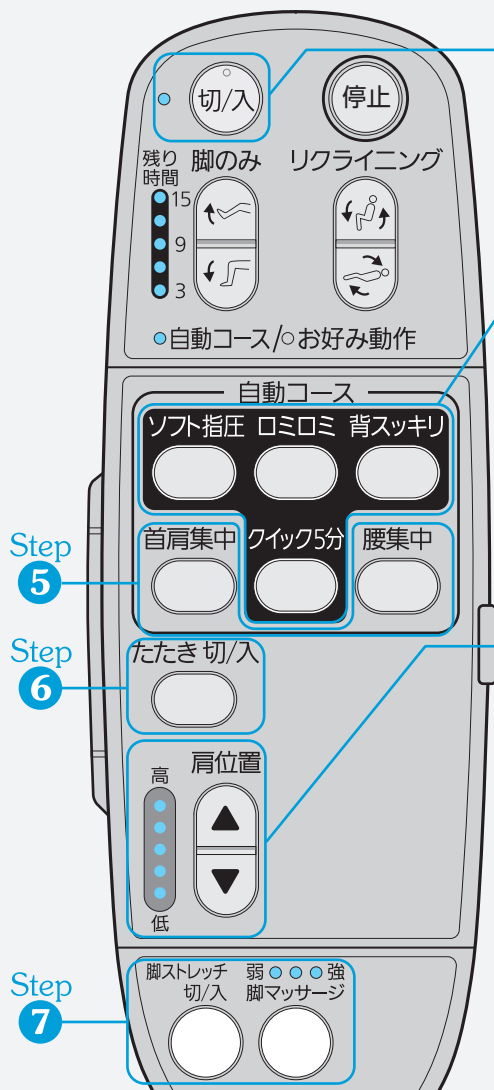


約170°

※リクライニングは椅子の角度調節のための機能です。連続上げ下げや他の目的などには使用しないでください。

自動コース・クイック5分コースでマッサージ

※イラストはEP1280です。



- Step 1** [切/入]を押す
●[切/入]ランプが点灯します。
- Step 2** お好みの自動コース選択ボタンを押し、マッサージをはじめる
●点滅しているボタンから選びます。
●椅子が自動的にマッサージポジションになります。
●途中で他のコースやお好み動作のボタンを押すと、そのボタンのコースに変更されます。
- Step 3** 椅子に深く腰かけ、頭を枕につけるようにゆったりともたれる
- Step 4** 肩位置を合わせる
●約20秒間、肩位置ランプが点滅し、もみ玉が肩付近でソフト指圧動作を行ないます。その間に上のもみ玉が肩に軽く当たるように調節してください。

お好みに合わせて

- Step 5** 重点部分を選択する
- Step 6** 自動コース中のたたき動作をなくす
●[たたき切/入]を押すたびに、たたき動作有り/無しが選べます。
- Step 7** 足のマッサージを調節する (EP1280のみ)
P.18「お好みに合わせて」参照

- Step 8** マッサージ終了後、自動的に停止
●マッサージを開始してから約15分で自動的に停止します。
●もみ玉が収納位置まで自動的に戻ります。
●足のせ台が自動的に下がります。
●再度ご使用される場合は[切/入]を押してください。
●続けてご使用の場合は10分以上休憩することをおすすめします。

途中で終了したいとき [切/入]を押す

- もみ玉が収納位置まで動きます。
- 自動でリクライニングが戻ります。
(背もたれはもみ玉が停止してから動きます)

ただちに停止したいとき [停止]を押す

- すべての動作がその場で停止します。

各自動コースの特長

- ソフト指圧** こりはじめの方や、疲れがぬけない方に…
ソフト指圧やゆっくりとしたたたきなどでポイントを丹念にほぐすコースです。
- ロミロミ** 疲労を感じたときや、やさしい刺激がお好みの方に…
手のひら感覚のさすりマッサージやロミロミ(ハワイアンマッサージ)をベースにリゾート感覚の「リラクゼーション」をイメージしたコースです。
- 背スッキリ** デスクワークや家事で姿勢が悪く疲れやすい方に…
背すじ伸ばし、おし、脚ストレッチで全身の筋肉を伸ばし、硬くなった背骨関節を動かすようにこねほぐし姿勢をシャキッとさせ、体を疲れにくくします。
- クイック5分** 短い時間で全身を軽くほぐしたいときに…
5分間で全身にいろいろな動作のマッサージを行ないます。

Step 2 について…

選択した自動コースがはじまる

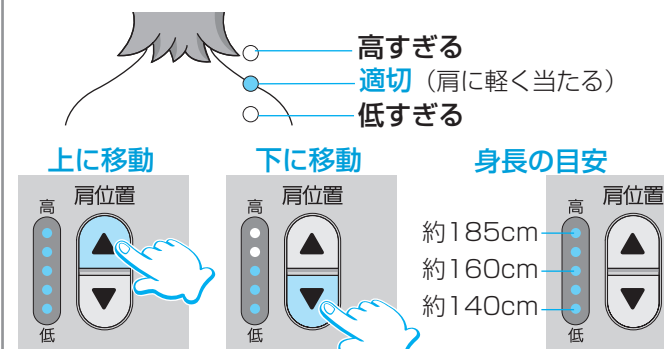
- 各コースのおおまかな内容 P.21 参照
- 脚マッサージも同時にはじまります。途中で脚マッサージの強さを変更したり、停止したりすることもできます。P.18 参照

マッサージポジション

- 各コースのボタンを押すと、よりリラックスできるようにリクライニング角度が、自動で変わります。
- EP1280の場合 約30° 上がる
EP1080の場合 約65° 上がる
- 約11° 倒れる

Step 4 について…

肩位置ともみ玉の位置の合わせかた



- 5段階（上下約10cmの範囲）まで調節できます。
(調節しても合わないときは体をずらしてください)
- マッサージ中でも変更できます。
 - マッサージ中にリクライニング調節したときや座る位置を変えたときは肩位置がずれますので、再度、位置を調節してください。

身長が140cm未満または185cm以上の方

肩位置が合わないときは下記の方法をおすすめします。

140cm未満の場合

座布団を敷いて深く腰かける

185cm以上の場合

背もたれを倒して前へ体をずらす

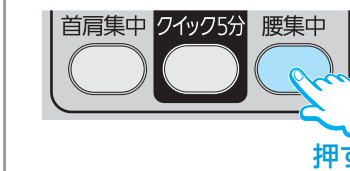
Step 5 について…

首肩を重点的にマッサージしたいとき



- 背・腰も多少マッサージします。
- 解除したいとき…
●再度ボタンを押してください。

腰を重点的にマッサージしたいとき



- 首・肩も多少マッサージします。
- 解除したいとき…
●再度ボタンを押してください。

Step 7 について…

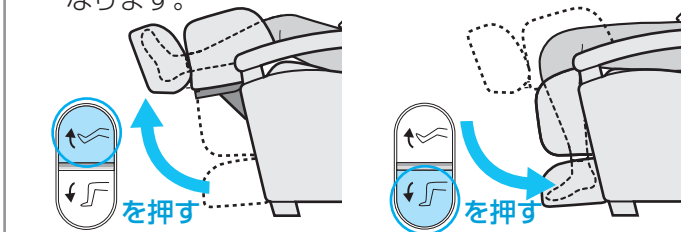
足裏がつくように脚のせ台を調節する (EP1280のみ)



- ① 脚ストレッチを「切」にする
●「入」だと調節しても元の位置に戻ります。

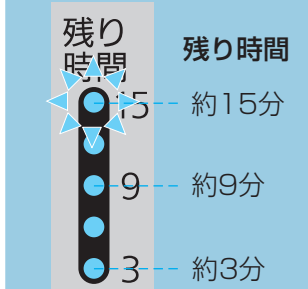
小柄な体格の方は
●脚のせ台を上げると足裏がつきやすくなります。

大柄な体格の方は
●脚のせ台を下げると姿勢が楽になります。



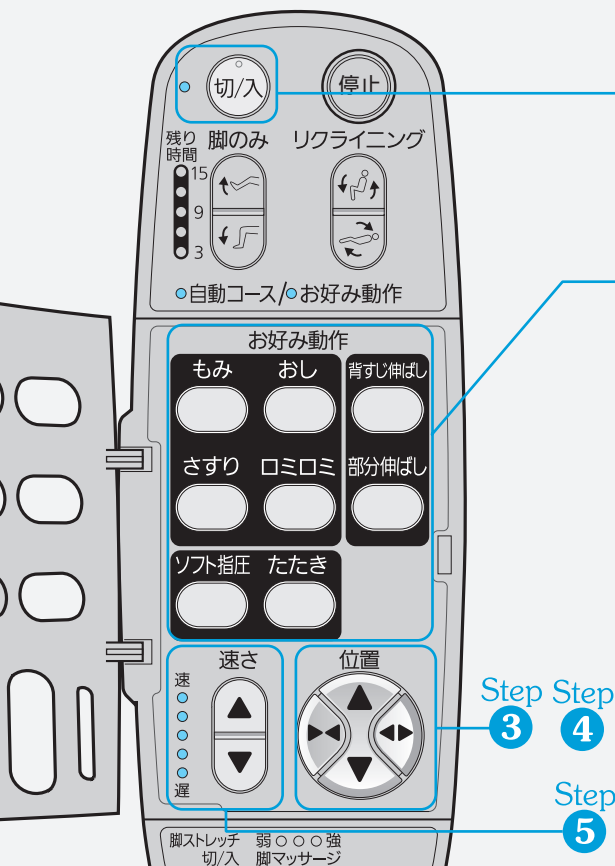
- 足裏部を回転させて脚を広くマッサージすることもできます。

マッサージの残時間表示について



- マッサージの残り時間をランプの点滅で表示します。
- 15分(クイック5分コース)のときは下から2番目のランプから始まり、約3分刻みで上から順にランプが消灯していきます。
- 残り1分で、点滅が速くなります。

上半身をお好み動作でマッサージ (操作器のカバーを開いてください)



Step 1 [切/入]を押す

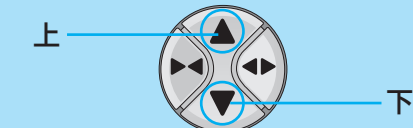
- [切/入]ランプが点灯します。
- お好み動作のすべてのランプが点滅します。

Step 2 お好み動作を選択し、マッサージをはじめる

- 選択したボタンが点灯します。
- 椅子が自動的にマッサージポジションになります。微調整したい場合 P.13参照

お好みに合わせて調節する
「ピピピッ」と音が鳴るまで調節できます。

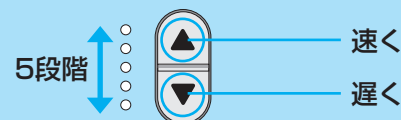
Step 3 もみ玉の上下位置を調節する



Step 4 もみ玉の幅を調節する



Step 5 動作の速さを調節する



Step 6 マッサージ終了後、自動的に停止

- マッサージを開始してから約15分で自動的に停止します。
- もみ玉が収納位置まで自動的に戻ります。
- 脚のせ台が自動的に下がります。
- 再度ご使用される場合は[切/入]を押してください。
- 続けてご使用の場合は10分以上休憩することをおすすめします。

途中で終了したいとき
[切/入]を押す

- もみ玉が収納位置まで動きます。
- 自動でリクライニングが戻ります。(背もたれはもみ玉が停止してから動きます)

ただちに停止したいとき
[停止]を押す

- すべての動作がその場で停止します。

基本動作の種類と動き

- もみ** 首筋から肩をほぐしたい方に…もみあげるような感覚でじっくりはさみこむようにほぐします。
- おし** 全身をほぐしたい方に…外側へ押し出すように、ゆるやかに、左右交互に押していきます。
- さすり** 背中を広くほぐしたい方に…肌を滑らすような感覚でリズムカルにほぐします。
- ロミロミ** 背中・腰をやさしくほぐしたい方に…両手で円を描くように背筋をリズムカルにほぐしていきます。
- ソフト指圧** こりのポイントを押したい方に…親指感覚でじっくりと左右交互に上下にこねるように押していきます。
- たたき** しっかりとほぐしたい方に…こぶしのような感覚で「トントン」とリズムカルにたたいていきます。
- 背すじ伸ばし** 背すじを全体的に伸ばしたい方に…首から腰まで背すじを全体的に上下します。
- 部分伸ばし** 背すじを集中的に伸ばしたい方に…背すじを部分的に上下します。

Step 2 について…

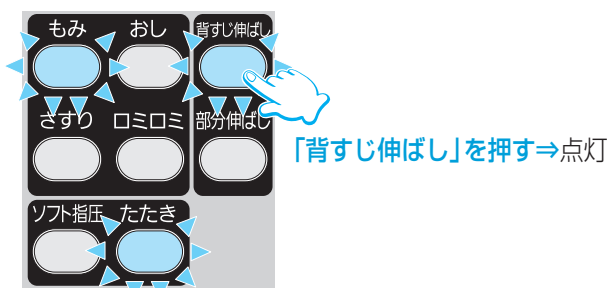
動作の組み合わせ例

複数の動作を組み合わせることができます。
(「もみ」と「おし」など同じ枠の中での組み合わせはできません)

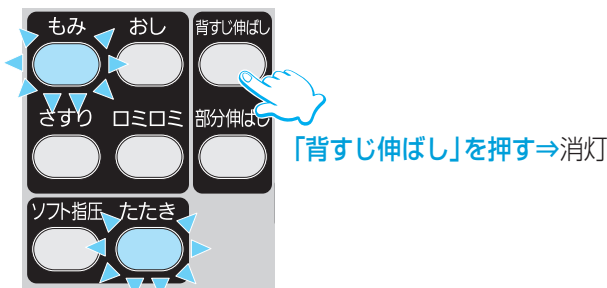
例1 「もみ」と「たたき」の組み合わせ



例2 さらに「背すじ伸ばし」を組み合わせ

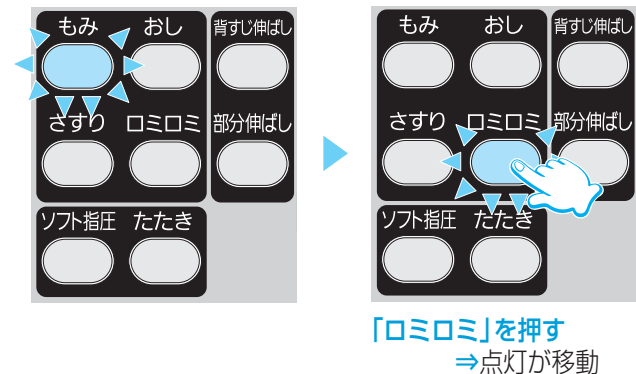


例3 再び「背すじ伸ばし」を切りにする

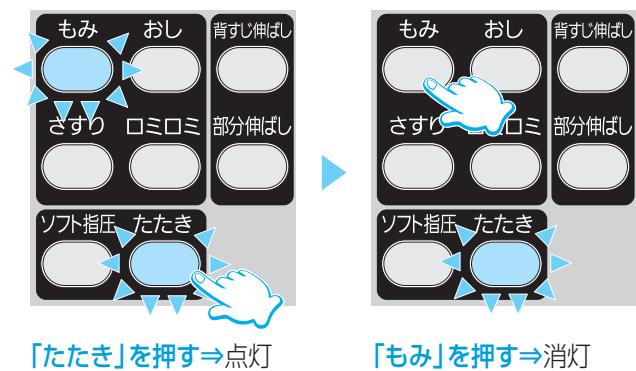


動作の切り替え例

例1 「もみ」から「ロミロミ」へ、同じ枠の中での切り替え



例2 他の枠への動作切り替え



- 「もみ」と「たたき」を組み合わせたと、「もみ」を切ります。

Step 3 について…

もみ玉の上下位置を調節するとき

- 1回押すと少し(約15mm)動き、長押しするとボタンを離すまで動きます。

Step 4 について…

もみ玉の幅を調節するとき

- たたき、ソフト指圧、背すじ伸ばし、部分伸ばしのみ、3段階に調節できます。

使い過ぎ防止タイマー (内蔵)

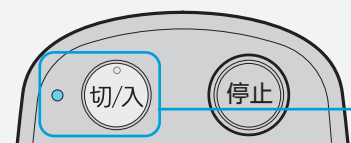


使い過ぎを防止するためにタイマーが内蔵されています。

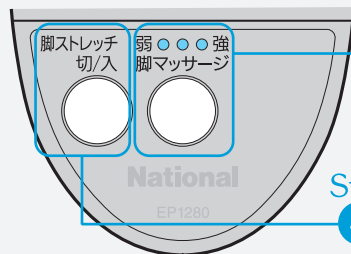
- お好み動作などをご使用の場合、動作ボタンを押してから約15分でタイマーが働いて、自動的に停止します。

※続けてご使用の場合は10分以上休憩することをおすすめします。

下半身をお好み動作でマッサージ 〈EP1280のみ〉



Step 1 P.13 で椅子の調節をしたあと
[切/入]を押す
●[切/入]ランプが点灯します。



Step 2 脚マッサージボタンを押し、
マッサージをはじめる
●強さ表示ランプが表示されます。
(初期設定は「中」)

脚マッサージの特長

脚マッサージ むくみがちで疲れた脚の疲れを、
心地よくやわらげたい方に…
脚を末端からしぼり上げるように
じっくりもみあげる動作でマッ
サージします。

脚ストレッチ ストレッチで脚の疲れをほぐした
い方に…

脚をエアでつかんだ
あと脚のせ台がマッ
サージポジションから
約15° 下がり、軽く
ストレッチします。

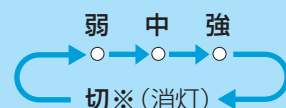
脚のせ台が約30°
まで上がったあと再
び約20° 下がり、
しっかりストレッチ
します。

脚のせ台が約30°
に戻ります。

お好みに合わせて

Step 3 くり返し押しして強さを調節する

- 3段階に調節できます。
- 押すごとに強さ（弱 ○ ○ 強）が下記のように
切り替わります。



※脚マッサージのみご使用の場合は「切」が省かれます。

Step 4 脚ストレッチをする

- [脚ストレッチ]を押すごとに脚ストレッチ切/入が
切り替わります。

Step 5 マッサージ終了後、自動的に停止

- マッサージを開始してから約15分で自動的に停止します。
- 脚のせ台が自動的に下がります。
- 再度ご使用される場合は[切/入]を押してください。
- 続けてご使用の場合は10分以上休憩することをおすすめ
します。

途中で終了したいとき

[切/入]を押す

- エアが抜け切るまで少し時間が掛かります。
([切/入]を押したあともエアが抜ける音がします)

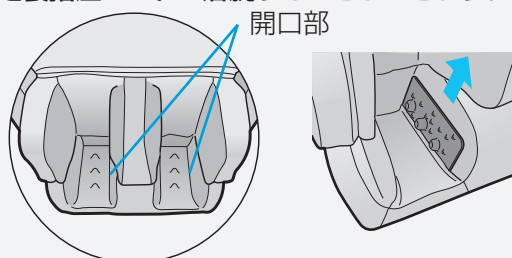
ただちに停止したいとき

[停止]を押す

- すべての動作がその場で停止します。

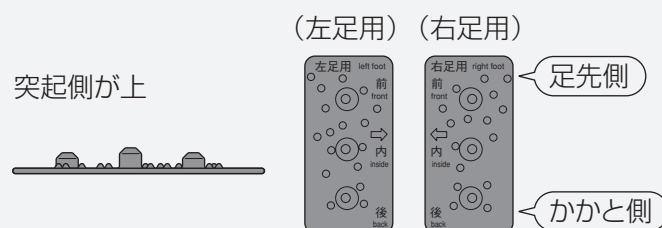
足裏指圧シートについて (出荷時に本体に装着されています)

足裏指圧シートは着脱することができます。



取り付けるときは

足裏指圧シートの向きと左右に注意して、
開口部から挿入してください。



マッサージが終わったら

椅子を元に戻す

Step 1 安全を確認する



人やペットが
いないか確認

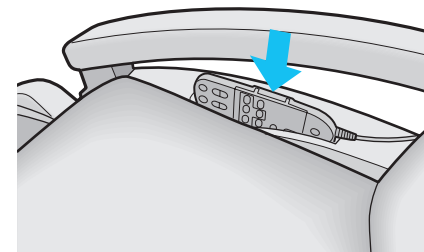
人やペットが
いないか確認

Step 2 背もたれを元の位置に起こす

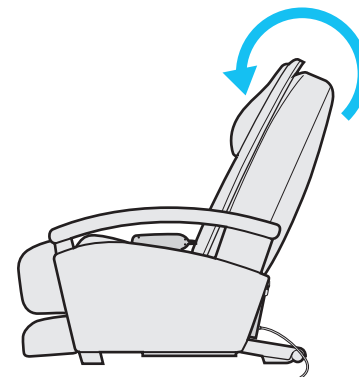


自動でリクライニングが
戻ります。
リクライニングボタンで
起こすこともできます。
(P.13参照)

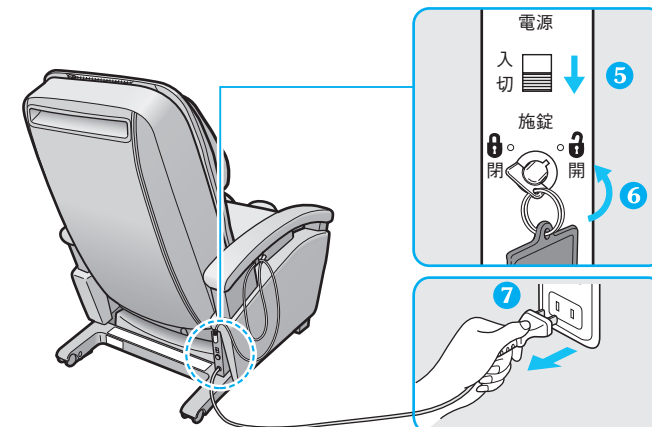
Step 3 操作器を操作器ケースに
収納する



Step 4 背クッションと枕を元の位置に
戻す



電源を切る



Step 5 電源スイッチを「切」にする

Step 6 施錠スイッチを「閉」にして
施錠キーを抜く

Step 7 電源プラグを抜く

Step 8 子供の手の届かない場所に
施錠キーを保管する

警告

- 使用後は必ず電源スイッチを「切」にし、施錠スイ
ッチを「閉」にし、施錠キーを抜く。
守らないと子供のいたずらによる事故やけがの
おそれがあります。

注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、
必ず電源プラグを持って引き抜く。
守らないと感電やショートのおそれがあります。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。
ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。
- 施錠キーは、子供の手の届かない場所に保管する。
守らないと誤飲やいたずらによる事故やけがの
おそれがあります。

お手入れ

⚠ 注意

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。
守らないと感電やけどのおそれがあります。

合成皮革部分

柔らかい乾いた布でふく

- 市販のレザーお手入れ用品（化学ぞうきん、薬品など）は使用しないでください。
合成皮革が変形するおそれがあります。
- 汚れがひどい場合は、以下の手順でふきとってください。

- ①水または中性洗剤をぬるま湯で3～5%位にうすめたものに、柔らかい布をひたし、よくしぼる。
- ②表面をたたくようにふく。
- ③水を含ませた布をよくしぼってから、洗剤液をふきとる。
- ④柔らかい乾いた布でふく。
- ⑤自然乾燥させる。

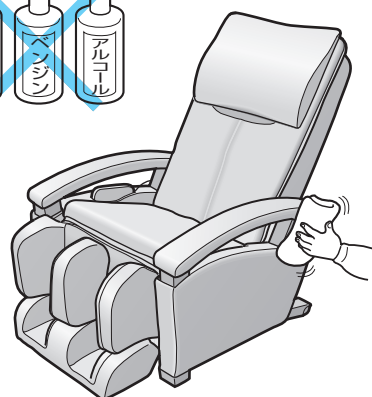
- 汚れが落ちにくい場合は、市販の「メラミンフォーム材質のスポンジ」で同様に中性洗剤を含ませふき取ってください。
- ドライヤーなどで急激に乾燥させないでください。
- 合成皮革部に色移る場合がありますので、ジーンズや色柄ものなど、色落ちしやすい衣類での使用はご注意ください。
- 変色の原因になりますのでビニール製品などを長時間接触させないでください。
- シンナーやベンジン、アルコールは絶対使用しないでください。



パイプ/プラスチック部分

- Step ① 中性洗剤を含ませた布をよく絞ってからふく。
- Step ② 仕上げに水を含ませた布をよく絞ってからふく。
※操作器をお手入れする際は、特によく絞ってからふくようにしてください。
- Step ③ 自然乾燥させる。

- シンナーやベンジン、アルコールは絶対使用しないでください。（変色したり、割れが発生するおそれがあります。）



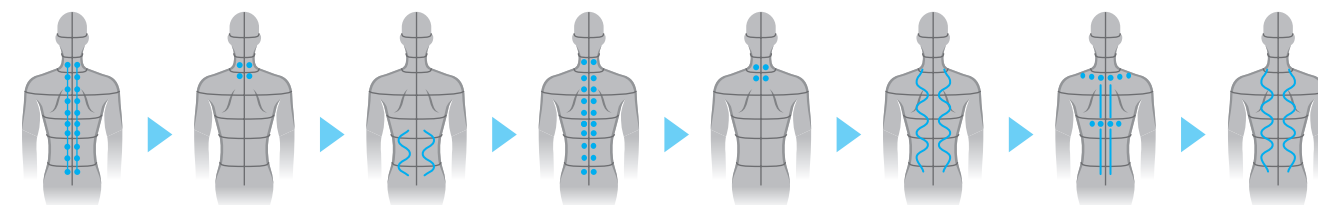
布地部分

- Step ① 中性洗剤を含ませた布をよく絞ってからふく。
 - Step ② 特に汚れがひどい場合は、中性洗剤でブラシ洗浄する。
（こすりすぎると、布地をいためることがあります。）
 - Step ③ 水を含ませた布をよく絞ってからふきとる。
 - Step ④ 自然乾燥させる。
- シンナーやベンジン、アルコールは絶対使用しないでください。（変色したり、割れが発生するおそれがあります。）



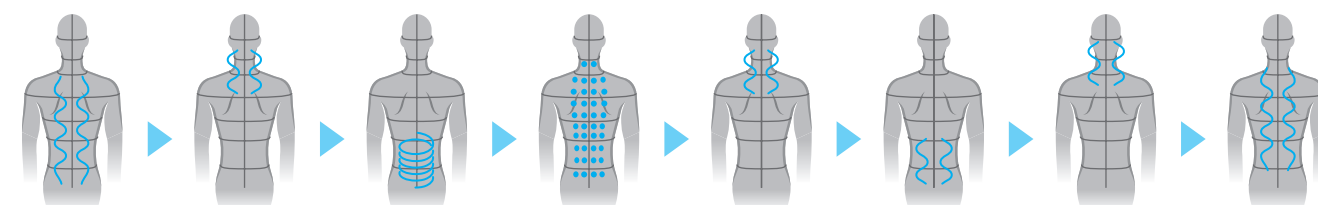
自動コースのおおまかな内容（上半身）

ソフト指圧



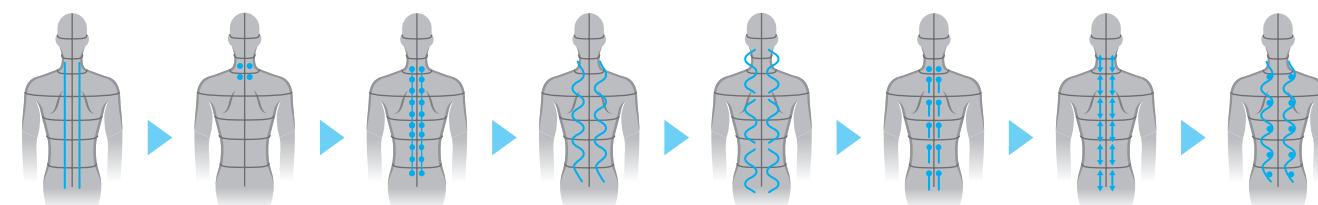
- 首から腰まで全体的にソフト指圧で刺激します
- 首肩をじっくりソフト指圧で刺激します
- 腰を重点的に挟み込むようにさすります
- 首から腰までじっくりポイントたたきを刺激します
- 首の付け根をじっくりソフト指圧で刺激します
- 首から腰までじっくりもみとたたきほぐします
- 肩上、肩甲骨の周囲、背すじのポイントたたきをたたきます
- 仕上げに全身をもみほぐします

ロミロミ



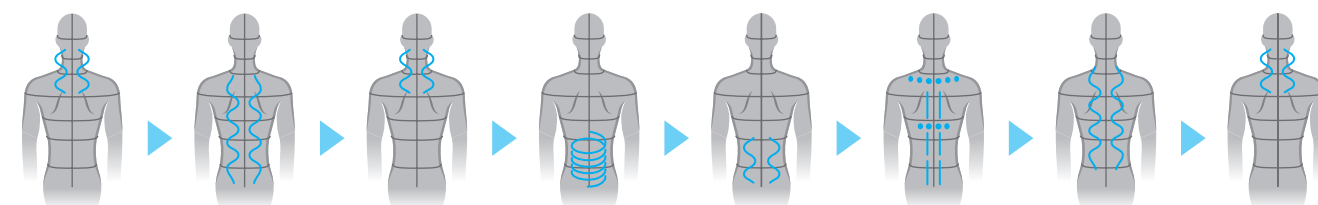
- 首から腰まで全体的に広くさするようにほぐします
- 首肩をゆっくり念入りにほぐします
- 腰を重点的に円を描くようにさすります
- 首から腰まで順番にもみほぐします
- 首肩をリズムカルに念入りにほぐします
- 腰、背中をリズムカルに挟み込むようにさすります
- 首肩をゆっくり念入りにほぐします
- 仕上げに全身を広くさすります

背スッキリ



- 首から腰までゆっくり背すじを伸ばします
- 首肩の付け根をゆっくり押していきます
- 首から腰に向け背骨関節を動かすようにこねほぐします
- 首から腰に向け背すじを交互に押ししていきます
- 腰から首に向け背中をもみほぐしていきます
- 腰から首に向け背すじを指圧していきます
- 背すじを細かく上下にねりこんでいきます
- 首から腰に向け背すじを交互に押しながら指圧していきます

クイック5分



- 首肩をゆっくりもみほぐします
- 全身をリズムカルにもみほぐします
- 首肩をリズムカルに念入りにほぐします
- 腰を重点的に円を描くようにさすります
- 腰を重点的に挟み込むようにさすります
- 肩上、肩甲骨の周囲、背すじをたたきほぐします
- 全身を広くリズムカルにたたきほぐします
- 首の付け根をじっくりとほぐします

Q&A

Q 病気で通院しているけど、使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師と相談のうえ、使用してください。

マッサージは「触圧刺激」といって、筋肉に圧力をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気によっては、悪化を招く可能性もありますので、必ず医師に相談してください。☞P.4～5参照



Q 位置・速さなどの調節をしてもすぐに動作が切り替らないのですが？

A 押すタイミングによっては、すぐに切り替らないことがあります。（わずかな時間差がありますが、異常ではありません）また、ボタンを押して「ピピピッ」と音が鳴るときは、限界点まで達しており、それ以上調節できません。

Q 脚のマッサージ位置が合わないのですが？

A 微調整することが可能です。

☞P.15参照

Q 自動リクライニングしない場合がありますか？

A あります。

- マッサージポジションより背もたれが倒れ、脚のせ台が上がっている場合は自動リクライニングしません。（背もたれ、脚のせ台それぞれ自動リクライニングします）
- 下半身のみをお好み動作でご使用される場合も自動リクライニングしません。

Q 左右の強さが異なるように感じるけどだいじょうぶ？

A 構造上やむをえず異なって感じる場合があります。

より自然な感覚でマッサージを行うために交互たたき機構を採用している関係で、やむをえずもみ玉の位置がずれて動作することがあります。そのため左右で強さが異なって感じるがありますが、故障ではありません。

Q より強くマッサージする方法はありますか？

A 次のことを試してください。

- 背クッションを椅子のうしろにはね上げる。
- 背もたれを倒す。（もみ玉に自分の体重が、より深く、強くかかるようになります）
- 深く腰かけ、体をしっかりと背もたれに密着させる。

Q 片足だけ入れて脚のエアーマッサージは使用できるの？

A 使用できます。

ただし、片足だけの場合、足を入れていない側の空気袋にエアーが多くはいってしまうために、エアーの強さ（圧力）が弱くなります。

Q マッサージが終了したとき、背もたれが自動で起きる場合と起きない場合がありますがなぜですか？

A 終了方法により決定されます。

- [切/入]ボタンで終了した場合は、背もたれは自動的に起きます。
- [停止]ボタンで使用した場合は、即時に停止させるため自動的に起きません。
- 15分タイマーで自動的に終了した場合は、安全が確認できないため背もたれは自動的に起きません。

Q タイマー機能はついてますか？

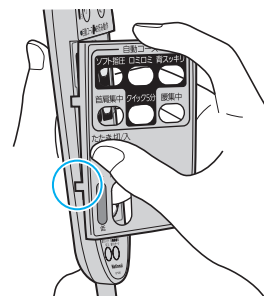
A ついています。

約15分でタイマーが切れ、もみ玉が上部に移動して収納状態で止まり、操作器の各ランプが消え、脚のせ台が自動的に下がります。再度ご使用のときは、[切/入]ボタンを押してください。※エアーマッサージも約15分でタイマーが切れます。※15分使用した後は10分程休みましょう。※1日2回まで（30分）を目安にご使用ください。

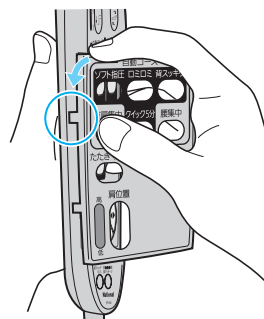
Q 操作器のカバーがとれてしまったけど、直りますか？

A 下記の手順で取付けてください。

- ① 操作器のカバーの左下部突起部を操作器の溝に合わせる。



- ② 操作器のカバーの左上部突起部を操作器の溝に合わせ矢印の方向へ押し込む。



Q 1ヵ月の電気代はいくらですか？

A 1日30分（15分×2回）で毎日使用した場合で約30円/月です。（新電力料金目安単価 22円/1kwh（税込）で計算）

Q ホットカーペットを椅子の下に敷いてもいいですか？

A 火災のおそれがあるので、おやめください。

ホットカーペットの発熱体を痛め、そこから火災になるおそれがあります。

Q 床暖房、フローリングの上に設置してもよいですか？

A 設置できます。

ただし、床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをおすすめします。（たたみの場合も同様）

Q 足裏指圧シートを取り外すことはできますか？

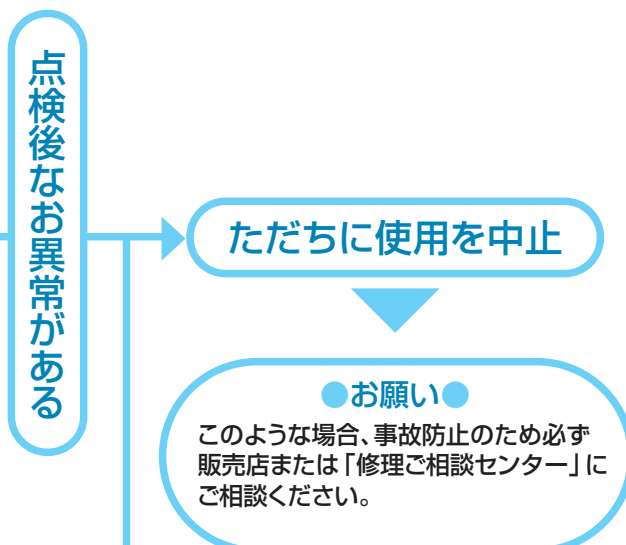
A 取り外しできます。


☞P.18参照

故障かな？と思ったとき


症 状	原因と処置
もみ玉が途中で止まる (操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する)	<p>ご使用中、無理に力がかかった場合、安全のためにもみ玉の動きが止まる場合があります。</p> <p>表示部やボタンがすべて点滅してもみ玉の動きが停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。</p> <p>再度止まる場合は、体を浮かし気味にしてご使用ください。 (特に体重100kg以上の方がご使用になるときはご注意ください。)</p>
リクライニングができない 脚のせ台の上げ下げができない (操作器の動作表示部やボタンがすべて点滅して消灯する)	<p>障害物にあたるなど、ご使用中、無理に力がかかった場合、安全のために動作が止まる場合があります。</p> <p>表示部やボタンがすべて点滅して背もたれ、または脚のせ台が停止した場合、本体の電源スイッチを一度切り、約10秒後に再度「入」にしてから操作してください。</p>
もみ玉が肩や首の位置まで来ない	<p>肩位置が合っていない。  P.15参照</p>
左右のもみ玉の高さが異なる	<p>交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。</p>
自動コースでマッサージをスタートしてもリクライニングしない (自動リクライニングしない)	<p>背もたれや脚のせ台の位置(角度)により自動リクライニングしない場合があります。  P.22参照</p>
リクライニングが自動で戻らない	<p>タイマーが働いたときや[急停止]を押して終了したときは自動で戻りません。(リクライニングを戻したい場合は[切/入]を2回押してください。)  P.23参照</p>
「ロミロミ」から「さすり」に切り替わらない	<p>もみ玉に体重を掛けていないと動作が切り替わりにくい場合があります。もみ玉に体重を掛けてください。</p>
動作しない (電源が入らない)	<p> <ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けている。  P.12参照 本体の電源スイッチが「切」になっている。 操作器の[切/入]を押したあと、コースボタンや動作選択ボタンを押していない。  P.14、16、18参照 </p>
マッサージ停止後に再度[切/入]を押しても電源が入らない	<p>● 終了処理中(約5秒間)のため[切/入]を受けつけない場合があります。すべての動作が終了して、約5秒以上たってから[切/入]を押してください。</p>
破損してしまった	
電源コード、プラグが異常に熱い	


動作中発生する音や感覚について	
<p>ご使用中に下記のような動作音や感覚がありますが、構造上発生するものですので異常ではありません。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 動作時にもみ玉が生地のシワを乗り越えるときの音・感覚(ポコン音・カクン音) ● もみ・たたき動作などの動作音(カタカタ音・ゴトゴト音) ● もみ玉動作時のキシミ音(キシキシ音) ● 上下動作時の動作音(カタカタ音) ● ベルトの回転音(シュルシュル音) ● モーター音(ウォーン音・ウィーン音・ジー音) ● もみ玉「押し」から「引き」に変わる際の音(カクン音) ● 着座時の音(ギュッ音) 	<ul style="list-style-type: none"> ● リクライニング時のひじ掛けと背クッションのこすれ音(ギュー音) ● もみ玉と布のこすれ音(ギュッギュ音) ● エアーの加圧動作音(ブー音) ● エアーの排気音(シュー音・スー音) ● 脚のせ台のガタつき ● 座面下からのポンプ動作音(ウーン音・ブーン音) ● 座面下からのバルブ動作音(コツ音) ● 脚ストレッチ、動作時カクン音



愛情点検	★長年ご使用のマッサージチェアの点検をぜひ!
	<p>このような症状はありませんか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コードや電源プラグが異常に熱い。 ● 動作中に異常な音、振動がある。 ● スイッチを入れても、時々運転しないことがある。 ● 本体が変形したり、こげくさい臭いがする。
	<p>お願い</p> <p>事故防止のため、使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

使いかたによりますが、目安として1日30分のご使用で1～2年程度に1度点検していただきますと、より長く快適にご使用になれます。

 警告
<ul style="list-style-type: none"> ● 絶対に改造しない。また、ご自分で分解したり、修理をしない。 <p>発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。</p>

 注意
<ul style="list-style-type: none"> ● 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグを抜いて点検修理を依頼する。 <p>守らないと感電や発火のおそれがあります。</p>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

相談先がなくお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保管してください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

但し一般家庭用以外 (例えば業務用など) に使用された場合は保証期間内でも有料とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このマッサージチェアの補修用性能部品の、製造打ち切り後6年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

地球の環境保護のため、廃棄するときはそのまま放置しないで各自治体の取り決めにしたがってください。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・相談先がなくお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は



修理ご相談センター

ナビダイヤル  **0570-081-365** ハイ 365日
(全国共通番号) 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日/受付9時~20時

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
大阪 ☎06-6906-1090 松下電工テクノサービス(株)
札幌 ☎011-261-6401 名古屋 ☎052-551-7900
東京 ☎03-5392-7190 福岡 ☎092-622-0531

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日/受付9時~20時 パナは 365日
電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ご注意 ・☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。
・所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

松下電工株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ

(おぼえのため、記入
されると便利です)

お買い上げ日

年 月 日

品番

EP1280・EP1080

販売店名

() —

松下電工株式会社 ヘルシー・ライフ事業部

〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33番地

© 2007 Matsushita Electric Works, Ltd. (松下電工株式会社) All Rights Reserved.

ナショナルホームページ <http://national.jp/>